

発行日：平成24年4月25日

【エコアクション21】

環境活動レポート

(取組期間：平成24年1月～平成24年3月)



花園特殊車輛株式会社

香川県高松市春日町1709-6

電話 087-843-3336

Fax 087-841-8285

目 次

- 環境方針■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 p
- 事業の概要■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2 p
- 認証・登録の対象組織・活動■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2 p
- 環境経営システム組織図■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 p～4 p
- 環境目標とその実績■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5 p
- 環境への取組みの内容と状況■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・6 p～7 p
- 環境活動の取組み結果の評価と是正■・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8 p～9 p
- 環境関連法規への違反、控訴などの有無■・・・・・・・・・・・・・・10 p

【添付資料】

環境関連法規制等取りまとめ表（遵守評価記録）：文書番号ECA-HS03-01

環 境 方 針

【基本理念】

花園特殊車輛株式会社は、当社の基本理念に基づき、地球環境の保全や環境問題への取り組みを通じ、社会に貢献することを誓い、行動いたします。

【行動方針】

特殊車輛及び自動車の修理・メンテナンス業務の地域及び地球環境に与える影響を考慮し、持続可能な循環型社会を目指し、従業員一人ひとりが以下の方針に基づき、積極的且つ継続的に取り組んでまいります。

【方針内容】

1. 理念、方針に基づく環境経営マネジメントシステムを構築し、改善実施に努めます。
2. 当社の事業活動に関わる環境影響を常に認識し、自主的・積極的に環境への取組と継続的な環境負荷の削減を図ります。
3. 当社の事業活動に関わる環境関連の法令、県条例、その他を遵守します。
4. 当社の事業活動に関わる環境影響のうち、以下の項目を環境管理重点テーマとして取り組みます。
 - ① 二酸化炭素排出量（電力使用量、ガソリン、軽油、灯油等石油系燃料使用量）の削減
 - ② 水資源使用量（排水量）の削減
 - ③ 廃棄物の削減及びリサイクルの推進
 - ④ 化学物質使用量の適正な管理とリサイクル
 - ⑤ グリーン購入やグリーン調達への推進
 - ⑥ 環境配慮サービスの開発・研究並びに販売提供
 - ⑦ 事務用紙使用量の削減
 - ⑧ 事務所周辺の清掃等社会貢献
5. 一人ひとりが環境負荷低減活動を積極的に実践できるように、この環境方針を全従業員に周知すると共に、環境活動レポート等で社外へも公表します。

上記の方針達成のために、目標を設定し、定期的（毎年5月）に見直し環境経営システムを推進します。

制定日 平成23年10月1日

花園特殊車輛株式会社

代表取締役 小田好弘

■事業の概要■

(1) 事業者名及び代表者名

花園特殊車輛株式会社

代表取締役社長 小田 好弘

(2) 所在地

本社及び工場 香川県高松市春日町1709-6

坂出工場 香川県坂出市大浜北3-4-36

(3) 環境管理責任者 氏名及び担当者連絡先

責任者 常務取締役 小田 芳直

(副) 常務取締役 佐竹 孝三

担当者 取締役営業部長 堤 達郎 087-843-3336

(4) 事業内容

- ・建設機械を始めとした特殊車輛の修理、メンテナンスなど
- ・トラック・一般自動車の修理、車検及びメンテナンスなど
- ・上記の板金塗装

(5) 事業規模

売上額 6億65百万円(修理・車検・メンテナンスなど)

	本社及び工場	坂出工場
従業員	24名	5名
延べ床面積	5,000㎡	3,300㎡

(6) 事業年度 4月~3月

■認証・登録の対象組織■

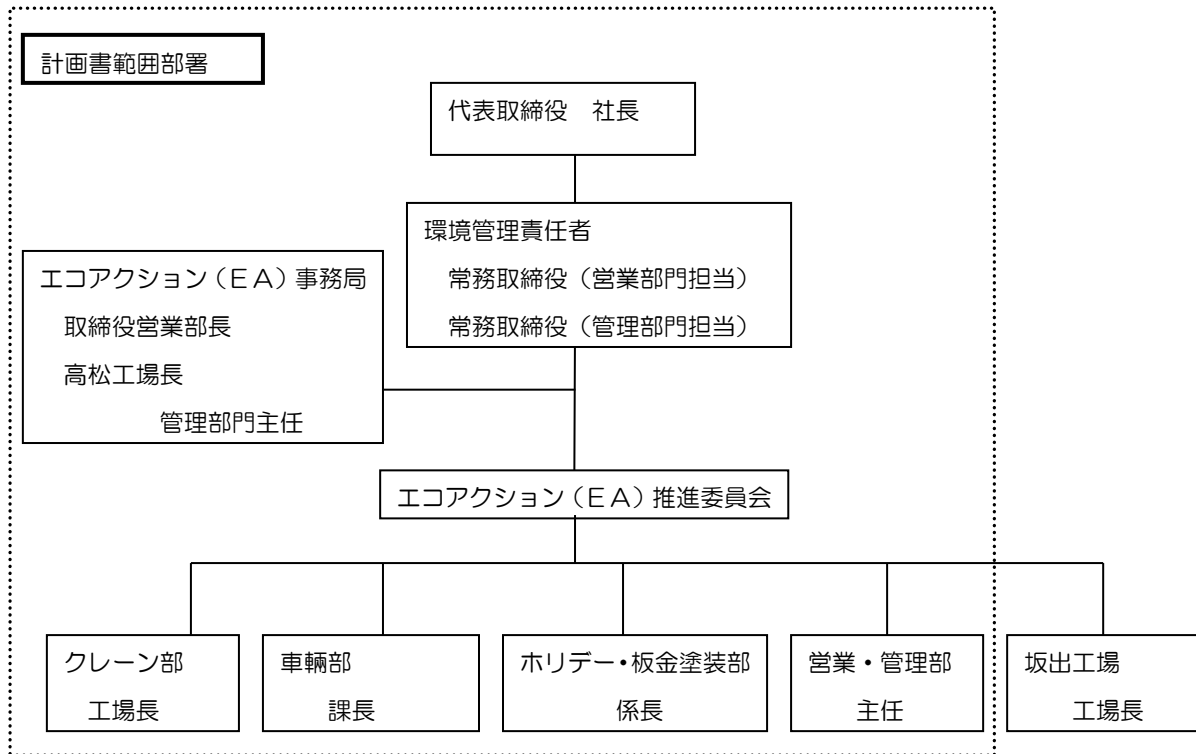
登録組織名 : 花園特殊車輛株式会社

対象範囲 : 本社事務所

本社工場

(坂出工場 平成26年4月登録予定)

■ 環境経営システム組織図 ■



役 職	役割・責任・権限 — 1
代表取締役 社長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境経営に関する統括責任 ・ 環境経営システムの実施及び管理に必要な、人、設備、費用、時間、技術者を準備、用意する権限と責任 ・ 環境管理責任者の任命 ・ 環境目標及び計画書の承認 ・ 全体の評価と見直しを実施 ・ 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・ 法規制等の取りまとめ並びに遵守評価を承認 ・ 環境目標、環境活動実施計画書の確認 ・ 環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・ 環境経営システムを構築、実施、管理 ・ 環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・ 環境活動レポートの確認 ・ 各手順書の承認

役 職	役割・責任・権限 — 2
E A事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境管理責任者の補佐、委員会の活動事務局 ・ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組みの自己チェックの実施 ・ 環境目標、環境活動実施計画書原案を作成・設定 ・ 環境活動の実績集計 ・ 法規制等の取りまとめ表の作成 ・ 法規制等の取りまとめ表に基づく遵守評価 ・ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・ 環境活動レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
エコアクション（E A）推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・ 月一回の会議で進捗状況報告 ・ データの収集
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自部門における環境方針の周知 ・ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・ 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・ 特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・ 自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・ 自部門の問題点の発見、予見、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境方針の理解と環境への取組みの重要性を認識し、自覚する ・ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動に参加し、実務を行う

■ 環境目標とその実績 ■

1. 環境目的・目標

作成日：平成 24 年 4 月 20 日

目的	単位	目 標			
		基準年（2011年）	2012年	2013年	2014年
二酸化炭素の削減	Kg-CO2	83,530	82,695	81,859	81,024
廃棄物排出量の削減	Kg	8,576	8,490	8,404	8,319
水総使用量の削減	m3	572	566	561	555
注3) 化学物質の適正な管理とリサイクル	注3)参照				
注4) グリーン購買の推進	%	5%	5.10%	5.15%	5.20%
注5) 修理への環境配慮	万円	50万円	55万円	70万円	85万円

注 1) 電力のCO₂ 発生量については、21 年度実績に基づく、四国電力の実排出係数 0.356 (Kg-CO₂ /Kwh) を使用した。

注 2) 取組初年度のため、基準年値は 2011 年 8 月から 10 月の 3 ヶ月間での実績を測定し 4 倍した。

注 3) 化学物質の使用量は少量のため、購入量の管理を確実にを行い、100%リサイクルしているかどうかで判断。

注 4) 事務用品費購入額に対するグリーン購買の比率。

注 5) 修理時にお客様の了解のもとリサイクル品を使用した金額。

2. 実績結果と評価

作成日：平成 24 年 4 月 20 日

(実績は 2012 年 1 月から 3 月の 3 ヶ月間の実績値)

目的	単位	基準値	目標	実績値	評価
		2011年8月～10月		2012年1月～3月	
二酸化炭素の削減	Kg-CO2	20,882	20,674	21,115	×
廃棄物排出量の削減	Kg	2,144	2,123	2,134	×
水総使用量の削減	m3	143	142	125	○
注3) 化学物質の適正な管理とリサイクル	注3)参照				○
注4) グリーン購買の推進	%	5%	5.10%	0%	×
注5) 修理への環境配慮	万円	12万円	14万円	25万円	○

注 1) 電力のCO₂ 発生量については、21 年度実績に基づく、四国電力の実排出係数 0.356 (Kg-CO₂ /Kwh) を使用した。

注 2) 基準値は 2011 年 8 月から 10 月の 3 ヶ月間での値を使用し、実績値は 2012 年 1 月から 3 月の 3 ヶ月間での値を使用。

注 3) 化学物質の使用量は少量のため、管理を確実にを行い、100%リサイクルしているかどうかで判断。

注 4) 事務用品費購入額に対するグリーン購買の比率。

注 5) 修理時にお客様の了解のもとリサイクル品を使用した金額。

■ 環境への取組みの内容と評価 ■

○取組手段が出来た △取組手段が一部出来た ×取組手段が出来なかった

環 境 方 針	2012年度 目 標	2012年度取組手段	担当者	対象(全体・ 本社は事務 局長、営業所 は部門長名)	評価
CO2排 出量の 削減	電力使用量の削減	1. 昼食時及び不使用部屋消灯	青山	○で囲む： 事務所 (○) 工場 (○) 坂出 ()	○
		2. 不必要な電灯取り外し	青山		
		3. パソコン電源OFF	青山		
		4. 保温ポットの利用	青山		
		5. 冬季エアコン20℃	佐藤		
		6. フィルターの掃除(2月)など 手順書 ECA-HS06-01	青山		
LPガス使用量の削減		1. お湯の沸かし過ぎをしない	青山	○で囲む： 事務所 (○) 工場 (○) 坂出 ()	△
		2. 沸騰したまま放置しない	青山		
		3. お湯のムダ使いしない	青山		
		4. ガスストップこまめに消す	工場長		
		5. 高効率給湯器の導入	工場長		
灯油使用量の削減		1. 洗車用ボイラーを水を基本とし 汚れのひどい場合にのみ、ボイラー 使用とする。	工場長	○で囲む： 事務所 (○) 工場 (○) 坂出 ()	△
軽油使用量の削減		1. 効率的な納車、引き取り	全員	○で囲む： 事務所 (○) 工場 (○) 坂出 ()	○
		2. 急発進・急加速の禁止	全員		
		3. 空ぶかしの禁止	全員		
		4. タイヤ空気圧適正保持	川崎		
		5. アイドリングストップ	全員		
		6. ステッカーを貼る 手順書 ECA-HS08-01	川崎		
ガソリン消費量の削減		1. 効率的な納車、引き取り	全員	○で囲む： 事務所 (○) 工場 (○) 坂出 ()	○
		2. 急発進・急加速の禁止	全員		
		3. 空ぶかしの禁止	全員		
		4. タイヤ空気圧適正保持	全員		
		5. アイドリングストップ	全員		
		6. ステッカーを貼る 手順書 ECA-HS08-01	全員		
廃棄物 排出量 の削減	廃油管理	1. 管理の徹底	工場長	○で囲む： 事務所 () 工場 (○) 坂出 ()	○
		2. リサイクルの徹底	工場長 中野		
廃プラスチック タイヤ(類)		1. 管理の徹底	山本	○で囲む： 事務所 () 工場 (○) 坂出 ()	△
		2. リサイクルの徹底	山本		
		3. エコタイヤを採用	山本		
		手順書 ECA-HS07-01			

廃棄物 排出量 の削減	可燃ごみ コピー用紙類 新聞紙、書籍など その他不燃ゴミ	1. 削減を行う	工場長	○で囲む： 事務所 (○) 工場 (○) 坂出 ()	△
		2. 管理の徹底	工場長		
		3. リサイクルを目指す	工場長		
廃棄物 排出量 の削減	金属くず 全数量リサイクルを 行う。	1. 管理の徹底	工場長	○で囲む： 事務所 (○) 工場 (○) 坂出 ()	○
		2. リサイクルの徹底	工場長		
		手順書 ECA-HS07-01			
水使用 量の削 減	節約手段を実施	1. 水道水を出し過ぎない	全員	○で囲む： 事務所 (○) 工場 (○) 坂出 ()	○
		2. 節水コマを設置する	工場長		
		3. 止水を確認する	全員		
		4. 社有車の水洗いを拭き洗浄に	全員		
		5. 水洗用タンクの水位調整	工場長		
		6. 漏水箇所チェック	工場長		
化学物 質使用	管理とリサイクル	1. 有機溶剤取扱い主任者の取得	山本	○で囲む： 事務所 () 工場 (○) 坂出 ()	△
		2. 管理の徹底	山本		
		3. リサイクルの徹底			
		シンナー、塗料、硬化剤			
		手順書 ECA-HS07-01			
グリーン 購入 の推進	順次グリーン購入を 進めていく 購入割合での管理	1. グリーン購入品の指定	青山	○で囲む： 事務所 (○) 工場 (○) 坂出 ()	×
		2. 担当者を決める			
		3. 購入仕様書の理解	全員		
		4. 従業員に周知する	佐竹		
		5. リサイクルし易い製品の購入	青山		
		6. 有害物質を含まない			
		7. 自治体運用組織からの調達	青山		
		手順書 ECA-HS09-01			
OA紙 購入量	購入量を極力抑え る	1. コピー用紙の裏面使用	青山	○で囲む： 事務所 (○) 工場 () 坂出 ()	△
		2. 使用量削減意識の徹底	全員		
		3. 印刷前の枚数、大きさ確認	全員		
		4. FAX用紙に裏紙使用	青山		
		5. 裏紙保管箱の設置	青山		
		6. PJによる会議資料の削減	堤		
		7. 極力電子媒体に記録する。	堤		
		手順書 ECA-HS09-01			
修理時 の環境 への配 慮	修理時のリサイクル 品使用	1. リサイクル品の使用を行う	山本	○で囲む： 事務所 () 工場 (○) 坂出 ()	○
社会貢 献	会社周辺の清掃活 動	1. 毎日行う	工場長	○で囲む： 事務所 (○) 工場 (○) 坂出 ()	○

■ 環境活動の取組み結果の評価と次年度の取組み ■

1. 運用期間（2012年1月～3月）における評価

（1） 二酸化炭素の削減

二酸化炭素の総排出量については、対目標 2%アップ、+441kg - CO₂ と増加となった。

① 電力消費量

対目標 9%アップ、購入電力量としては 1,934kWh の増加となった。一般の電力消費は削減を進めたものの、板金塗装工場の本格的な立上げによる乾燥機器、照明等の使用による増加が要因となった。

② 化石燃料使用量

灯油は対目標 53%アップ、消費量としては 277L の増加となった。基準値取得を夏場（8～10月）で行ったため、洗車を水で行うが、実績値取得の冬場（1～3月）は温水で行うのが大きな要因となった。

LPGは対目標 285%アップ、消費量としては、9.8kg の増加となった。一般事務での湯沸しや作業員の手洗い、汚れ落としなど、上記と同様、夏場（目標量の基準）と冬場の季節要因が大きな要因となった。

③ 自動車燃料使用量

ガソリン、軽油は対目標 8%ダウン、消費量としては 367L の削減と目標が達成出来た。エコ運転の浸透での大きな効果があった。また軽油については、減車があったため大幅に使用量が減ったことが要因となった。

（2） 廃棄物排出量の削減

当社は車検のフランチャイズ（FC）で営業を行っており、FC本部は、エコを意識した車検を開発しており、当社もそれに準拠した形で対応を行っている。（例：ブレーキパッドの磨耗具合【法令範囲内】によって半年使用出来るのであれば、そのまま使用してもらい、半年後に交換を行う）

① 一般廃棄物

対目標 0.5%アップ、廃棄量としては 11kg 増加となった。コピー用紙の裏面利用や、ダンボールの再利用など、廃棄量の削減を行ったが、若干のアップとなり目標には届かなかった。その中で、コピー枚数は 8,878 枚から 10,193 枚と使用量が増加した。これは決算の繁忙期に当り、お客様の数が増加したためである。

② 産業廃棄物

タイヤ（廃プラスチック）については、リサイクル業者に全数引きとってもらい、リサイクルしている。エコタイヤをお客様に採用して頂く目標を 6 本にしていたが、採用本数としては 4 本という結果となった。やはりコスト優先のお客様が大半であることが目標に届かなかった要因である。

金属くすについても全量リサイクルしている。

(3) 水使用量の削減

対目標 12%ダウン、使用量としては 17m³ 削減した。社有車などは水拭き（布手拭き）に極力変更した。また、こまめに節水に努めたことも削減の要因である。

(4) 化学物質の適正な管理とリサイクル

廃エンジンオイル類、作動油、シンナーなどは、全量リサイクルしている。

(5) グリーン購買の推進

コストの面やグリーン購入の浸透が徹底せず、推進出来なかった。

(6) 修理への環境配慮

お客様了解の下、中古エンジン組み込みなどを行った。

2. 次年度の取組みについて

(1) 二酸化炭素の削減

電力消費量の増加が目立つ。お客様相手の商売であるためなかなか難しいが、お客様にも協力してもらうための啓蒙ポスターや節電の実施を行うこと。

また、化石燃料や自動車燃料についても、エコ操作・運転のステッカーなどでもっと啓蒙を行い徹底すること。

(2) 産業廃棄物

廃棄物の総量が減っていない。特にコピーについては、月間使用量をもっと減らすことを従業員にも理解させるため、削減実施表等をコピー機の前に張り出すこと。エコのコピー用紙に早急に切替えること。

(3) 水使用量の削減

今後も継続して、節水に努め目標を達成する。

(4) 化学物質の適正な管理とリサイクル

今後も継続して実施管理する。

(5) グリーン購買の推進

今後は、コストアップになるが使用量の多い、コピー用紙をグリーン購入に切替える予定。

(6) 修理への環境配慮

エコの観点及びコスト意識も含めお客様に中古品使用を進める。

3. 代表者による全体の評価と見直し（2012年4月19日実施）

エコアクション21を約半年間行ったが、まだまだ全従業員の環境の意識が徹底されていない。全体会議などで頻りに啓蒙を行い、より環境の意識を深めていくことが必要だ。また、社会（お客様も含め）や会社への貢献度を目標値の達成度合いや効果で、もっとアピールすることも必要である。

環境方針、環境目標、環境活動計画及び環境経営システムなどについては、変更する必要性はないと判断し、このまま継続し、徹底して進めてもらいたい。

■ 環境関連法規への違反、訴訟などの有無 ■

1. 適用となる主な環境関連法規

添付の【環境関連法規制等取りまとめ表（遵守評価記録）：文書番号ECA-HS03-01】を参照願います。

2. 違反・訴訟等

関連環境法規への違反や訴訟はありません。尚、関係当局より違反等の指摘は、過去 10 年間ありません。

以 上